

■通学路対策箇所図（路面カラー化）

別紙2-①

令和6年8月現在

○路側線＋カラー舗装



路側帯のカラー舗装(明確化)
により、歩行空間を視覚的に確保し、歩行者の通行の安全性を高める。

○交差点表示＋カラー舗装(赤茶)



信号のない**見通しの悪い交差点をカラー舗装(明確化)**することにより、視覚的にドライバーに注意を促す。

※プログラム策定
以前に対策完了済

○路面標示
(通学路マーク、スクールゾーン)



○横断歩道
＋カラー舗装(赤茶)



通行の危険箇所の一つである**横断歩道部をカラー舗装(明確化)**することにより視覚的にドライバーに注意を促す。
(小学校の入口付近等)

車両がスピードを出し危険。
車両の交通量が多く歩行者との接触が懸念される。
見通しの悪い交差点が多く危険。

全小学校区

<対策メニュー>
・路面カラー化
(対策完了)